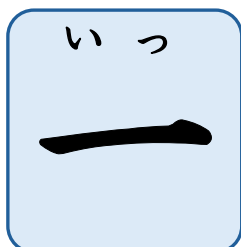




學 穂

令和6年度 広州日本人学校
学校だより No.11
令和7年1月8日
発行責任者 校長 大久 耕



今年度最後となる3学期のスタートです。376名でのスタートとなりました。

3学期は、1月25日(土)~2月4日(火)までが春節等による休業日となるため、42日間になります。7日に行われた始業式では、小学部2年生、6年生、中学部2年生の代表児童生徒が、それぞれこれまでのことを振り返り、「習った漢字をしっかりと覚えること、学級目標を達成すること」(小2)、「中学生に向けて計画的に学習を進められるようにする」(小6)、「後悔のないように充実した生活を送りたい」(中2)といった抱負を発表しました。

校長からは、「一結杳然(いっけつようぜん)」という言葉を取り上げ、今年度を終えたときに、1年間を振り返り、自分たちの努力や成長を楽しめるように力を合わせていこうと話をしました。

気持ちを新たに、教職員一同で子供たちの指導・支援に努めてまいります。今年も、引き続き教育活動へのご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

3学期の校外学習等の実施について

2学期以降、校外学習等の実施に当たりましては、日本企業訪問、室内等の閉鎖された場所に限定し、実施してまいりました。

3学期の校外学習等につきましては、入場制限や管理がされている場所を中心に、引率教員の増員や警備員の同行を図りながら、十分な下見や計画立案の下に、進めてまいりたいと考えております。

広州日本人学校人権宣言

12月に実施した人権週間での各学級での取り組みを基に、本校児童生徒全員で取り組む目標として、「広州日本人学校人権宣言」が採択されました。

「私は一人一人の個性を大切にします」「私はふわふわ言葉で伝えます」「私はみんなに優しくします」の3項目からなり、始業式後の集会では、小学部低学年の児童にも理解でき、かつ言葉の持つイメージを全員が共有できるように、「個性」、「ふわふわ言葉」、「やさしさ」とは、それぞれどのような内容や意味があるのかについて、説明がありました。

児童生徒ばかりでなく、本校に勤務する全ての職員も、この宣言を大切にしていって、指導・支援に当たってまいりたいと思います。

